

第27回三遠南信サミット in 南信州では、「新たなビジョンの始動～将来に向けて今すべきこと～」をテーマとし、全体会及び「住」（防災）を主題とした連携検討会を実施し、議論を行いました。

本日のサミット開催地である南信州地域では、2027年に開業をめざすリニア中央新幹線の長野県駅の設置が飯田市内に予定されており、新ビジョンの目指すべき地域像で示されている「大都市圏・世界と結ばれる広域連携都市圏の形成」に向けて、大きな変化を迎えています。全体会においては、リニア中央新幹線の開業に伴い形成されるスーパー・メガリージョンを三遠南信地域としてどう活用していくか、有識者を迎え議論を行いました。

「住」（防災）を主題とした連携検討会では、新ビジョンの基本方針として掲げる『住』安全安心な広域生活圏の形成」に焦点を当て、南海トラフ巨大地震による被害状況とその対応について共有し、協議しました。協議内容を踏まえ、次の事項に重点を置き広域防災体制の充実を図り、地域連携を推進します。

- 1 平常時及び災害時の情報共有を一層進めます。さらに「命の道」でもある三遠南信自動車道の必要性を再確認するとともに、一日も早い開通に向け、地域一丸となって取り組んでまいります。
- 2 有事の際にも産業活動を維持・継続していくために、事業継続計画（BCP）の策定促進を図るとともに、必要な物資の供給等、早期復旧のために相互応援・協力を行うなど、災害に負けない産業連携体制を目指します。
- 3 地域住民の安全安心確保のために、備蓄物資や、水をはじめとしたライフライン施設について現状を確認し、広域的な緊急物資の運搬体制等について検討を進めます。
- 4 災害に強い地域を目指し、地域住民による先進的な取組について、三遠南信地域内で共有を図ります。また、過去の災害の体験等を引き継ぎながら、地域の防災を担う人材を育成し、地域、風土に根ざした安心・安全な地域づくりを推進します。

本日の議論を契機として、南海トラフ巨大地震などの災害から、一人でも多くの命を守るためにも、災害時相互応援協定を踏まえ、迅速できめ細かな相互応援体制を築き、有事に備えた緊密な連絡体制の確立や必要な情報伝達訓練を実施する等、各主体の連携した取組により、安全安心な広域生活圏の形成を目指します。

これらの成果をここに集う全ての主体が共有し、第27回三遠南信サミット2019 in 南信州のサミット宣言といたします。

SENA 構成自治体においては、実施している連携事業を継続、展開していくと共に、新たな連携事業の実現にも努め、広域連合設置を見据えた地域連携のプラットフォーム形成に取り組み、新たな三遠南信地域連携ビジョンの推進に尽力してまいります。

令和元年10月30日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議

三遠南信サミット2019 in 南信州